

質	問	者
議席	氏名	質問事項
7	橋本晃明	<p>1 新規就農の支援体制について</p> <p>今、酪農をはじめ農業はかつてない厳しい経営環境にあり、どうやって乗りきって行くか真剣に取り組まなければならないが、一方で中長期的な視点を忘れずに農業・農村の将来像を考えることが重要であると思う。</p> <p>今回は新規就農（新規参入、後継者）について町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 新規参入を推進・支援する考えはあるか。後継者が戻ってくる魅力ある農業・農村づくりはできているか。</p> <p>(2) 新規就農に向けた研修の仕組みはあるのか。</p> <p>(3) 新規就農希望者の減少は、酪農ヘルパーや牧場従業員の不足につながるという危機感はあるか。</p> <p>(4) 農業委員会・農協・NOSAI・普及センターなどとの連携はできているか。</p> <p>(5) 近隣町村、あるいは十勝全域での連携を強化する考えはあるか。</p>

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
4	川上	均	<p>1 プレミアム商品券の利用拡大の取り組み</p> <p>町は、プレミアム商品券の発行を令和5年度も継続する予定だが、町民からは用途と店が限られ使い勝手が悪いとの声が聞かれる。</p> <p>他町のように町内全店、税金や使用料等にも使え、そして生活困窮世帯に商品券の無料配布が出来ないか町長の考えを伺う。</p> <p>2 清水高校の存続が困難となった場合の影響と考えは</p> <p>清水高校の現状については大変厳しいと認識している。このままでは令和5年度2名、令和6年度3名の教員削減と聞いており、間口減により総合学科としての機能が果たせず、最悪の場合いよいよ存続の危機が想定される。</p> <p>もし存続が困難となった場合の影響についてどのように考えているのか教育長と町長の考えを伺う。</p> <p>3 公衆浴場工事等休館期間の代替え措置の取り組み</p> <p>昨年のレジオネラ菌による公衆浴場休館により、自宅に風呂がなく交通手段のない町民は入浴の機会が奪われ、長期に渡り入浴出来ないことは公衆衛生上も問題と考えられる。</p> <p>今後施設の老朽化による大掛かりな改修工事等も想定される中で、代替え手段の検討について町長の考えを伺う。</p>

質 議	問 者	質 問 事 項
席	氏 名	
6	鈴木孝寿	<p>1 町長の公約にある道の駅の進捗状況について</p> <p>「清水町に道の駅をつくる」これは町長の公約として町民の関心が高い。清水地域及び御影地域に2箇所つくとコメントされ、町長の今後の手腕について期待が高まっていたが、現在の進捗について伺う。</p> <p>2 まちまるごとホテルを目指す民泊事業の現状について</p> <p>町の魅力の発信と地域活性化に繋げる目的として本事業を実施していると思われるが、現状と今後の見通しについて伺う。また、町長の考える町の魅力とは他町村との違いを含め今後目指す方向性について伺う。</p> <p>3 選挙における投票率の向上について</p> <p>町議会選挙が終わり、今後、統一地方選が実施される中、高齢者や障がい者がより選挙に投票できるために、他町の例にもある、自宅等へ赴き投票しやすい環境づくりが必要である。</p> <p>また、細分化されている投票所の集約も併せて考える必要もある。統一地方選挙を目前にどのように考えていくか伺う。</p>